

活動名	団体名	彦島山中町自治会
小学生からゴミ問題対策教育	地域	山口県下関市
	代表者	会長 酒井 能具
	支援金額	20万円
活動概要	<p>地域で生活する時に、まず難儀するのがゴミ問題です。回収されない違反ゴミがあるとゴミステーションは汚れの巣窟となり、タバコなどのポイ捨てを放置すると、汚れた町が定着します。汚い町は、児童の清潔な意識を蝕み、健全な市民としての教育そのものの根底を揺すぶります。 「鉄は熱いうちに打て」のことわざのごとく、小学生から始める環境教育活動により保護者を含めた住民の環境意識の広がりを狙い、以下のような活動を行いました。</p> <p>◆実施時期&参加人数</p> <p>(1)ゴミ収集違反に対する啓蒙活動・・・通年実施、418名 (2)小学生対象の環境問題について学習(映像利用)とゴミ分類体験・・・7月12日、72名 (3)夏祭り時を利用したゴミ分類啓蒙・・・7月23日、24名 (4)児童の地区大掃除への参加とノコギリ体験・・・7月28日、45名 (5)高齢者も参加する連携強化行事(もちつき)・・・12月22日、53名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:612名</p>	



プロジェクターを利用した小学生の環境(ゴミ)学習内容



ゴミ収集違反に対する啓蒙看板



地区大掃除参加後のノコギリ体験



高齢者も参加する連携強化行事(もちつき)風景

◆実施に伴う効果

- (1)ゴミ問題の学習を小学生から始めることが定着してきました。
- ・小学校で毎年、ゴミ学習授業に取り組んでくれるようになり、将来の展望が開かれました。
 - ・地域の環境問題は「ゴミ収集場所の汚れと公園、道路のポイ捨てゴミの放置」です。「鉄は熱いうちに打て」のことわざのごとく、小学生から始める環境教育活動により保護者を含めた住民の環境意識の広がりを狙った活動が定着してきました。
- (2)地域が子供を育て、地域は子供から元気を貰う活動が一步前進しました。
- ・ノギリ体験や餅つき行事により、高齢住民と児童の交流が活発化しました。
 - ・これにより、地域のおじいさん、おばあさんの知恵や温もりを児童に与えることができました。
 - ・以下のような社会情勢のなかで、健全な市民育成のための教育に寄与できたと考えます。
- (社会情勢)
- ・さまざまな理由により、自分の祖父母と一緒に過ごすことがない児童が増えてきています。昭和時代までは、地域や家庭に年寄りが身近におり、生活上の技や知恵を受け継ぐことが普通にできる世の中でしたが、近年、この大事な社会の仕組みが壊れているように思われます。
 - ・私どもの自治会は、これを補うため、地域として子供を育てる活動を目指しており、今回、その一步前進の成果がありました。又、参加した高齢者から、「よかったね、又やろうね」との言葉を頂いています。

◆苦勞した点

- 【予算】
単年度の助成だけでは、折角の効果が萎んでいきます。新しい活動への門戸を広げることも大事と思いますので、3年間の継続助成の実現をお願いします。
- 【参加者】
保護者は母親も働く人が多く、協力者の確保が難しいので、高齢住民が頼りですが、年金支給年齢が高年齢化していることも影響し、まだまだ働く高年齢世代も増えており、活動協力者が将来確保できるか心配要素となっています。
- 【地域の理解】
地域で子供を育てようとの活動は、地域住民の間に理解が広がってきています。この活動は、地域の高齢住民の社会参加を促進する効果があり、地域興しの大事な柱の一つとなっています。

◆今後の課題・発展の方向性

今後、中学生にも活動を広げたい。
子供たちに、おじいさん、おばあさんの知恵、経験を伝え、手作業を沢山、体験させたい。
手作業することで、様々な体験ができ、沢山の失敗経験と、それからの修復経験を得ることができる。これが、一生役立つ知恵となる。このような活動により、理科への興味も惹起し、ものづくりへの興味も惹起させたい。

◆活動を終えての感想・意見等

活動することにより、町が明るくなってきているように思います。子供たちと馴染みになり、町民の皆さんから、よかったねという声が聞こえてきます。もっともっと、活動を広げていきたい。